

# Catalogue Guide

## 常設展ポケットガイド & コレクションガイド



当館のコレクションは「世界の美術」「日本の美術」「新潟の美術」を軸に収集され、現在、6,000点以上を数えます。たくさんあるコレクションの中から、代表作や美術館について知りたい!という方におすすめのが、「常設展ポケットガイド」。1993年の開館当初から刊行され、当館の入門書として最適の内容です。

その後刊行されたのが、テーマごとにコレクションを紹介する「コレクションガイド」。第1号は「自然主義と日本」がテーマ。ギュスター・クールベが推し進めた自然主義とその広がり、日本の近代美術への影響を、当館コレクションからわかりやすく紹介しています。他

### キンビのおすすめ

美術館の企画展には作品が多く、じっくり鑑賞すると疲れてしまうこともあるかと思います。

そんな時に皆様にはっと一息ついていただける場所が近美にあります。

ミュージアムショップ前の窓際にソファがあり、そこに座るとさわやかな緑の木々にお花畠も眺めることができます。お天気が良いと明るく、とても気持ちの良い場所です。時々ウトウトされている方もお見かけします。企画展を見たあとは、こちらで休んでくださいね。

本当はこちらでコーヒーとケーキでも…と言いたい所ですが、お食事はごめんなさい、お二階のレストランでお願いします(笑)。

体を休めたあとは、当館のコレクション展も是非ご覧ください。皆様に、ゆったり素敵な時間を過ごしていただけたら幸いです。

(嘱託員 村越万友美)



### お世話になっています 温湿度計

シリーズ  
その9



摂氏22°C、湿度55%。これが当館の展示室の基本です。もちろん、展示作品の種類によって若干変更はありますが…。わずかな変化も見逃さないのが、この温湿度計。貴重な作品を24時間、365日見守っています。縁の下の力持ちに感謝。

(副参事 宇賀田和雄)

# 雪椿通信

新潟県立近代美術館だより  
Autumn & Winter 2016 NOME

vol.47

館長 德永健一

## 美術館所感

これらガードは現在、ミュージアムショップKINBIでお取り扱いをしています。価格はいずれも200円! じつはこれらのガードは200円という価格はもとより、切り取って使える絵葉書も付いていて、実はとってもお得なのです。片手で持てるサイズですから、ガイドを見ながらコレクション展を楽しむのも、おすすめですよ。

(主任学芸員 伊澤朋美)

ティントレット、ヴェロネーゼら16世紀のヴェネツィア・ルネサンスの三大巨匠をはじめ、ブーダン、モネなど印象派の作品、豊かさと交易から生まれ出された、刺繡、ファッショなどヴェネツィアの多様な魅力を余すところなく紹介しています。美術鑑賞だけでなく、華やかなヴェネツィア・ガラスや豪華なファッションドレスなど作品制作技術や、文明の交流史という視点からの鑑賞もおすすめしたいと思います。

9月10日から11月27日までヴェネツィア展を催します。ヴェネツィアと聞いて私が真っ先に思い浮かべるのが、前川誠郎初代館長が収蔵した近代美術館の宝の一つである《ヴェネツィア鳥瞰図》です。ヴェネツィアはいまあの内湾の島を中心に栄え、昔の姿を残してその中を運河が交差し小舟が行きかう街です。中世以来、地中海貿易の拠点として栄え、ルネサンス時代には多くの画家たちを引き寄せました。今日では日本人旅行客にも人気の街です。今回の展覧会ではティツィアーノ、



《サンタ・マリア・デッラ・サルーテ聖堂: サン・ジョルジョ島から望む》1895年  
Juliana Cheney Edwards Collection 25.111,  
©2016 Museum of Fine Arts, Boston.

12月13日から来年1月15日までは新潟ゆかりの書の展覧会です。「良寛と巻菱湖 越後が生んだ幕末の二人の書人」です。良寛の独特な書は、多くの書人から“あのゆれと流れは美の極致”だと言わしめ、その生き様もまた魅力となって伝わっています。

数年前の初秋に長岡市福島町にある良寛の晩年を支えた貞心尼の草庵の跡に足を運びました。暮れなずむ国上山がシリエットになって遠くに見え、貞心尼の思いに心を寄せて景色を眺めました。今回の展覧会には重要文化財作品も展示されます。



ヤコボ・デ・バルバリ《ヴェネツィア鳥瞰図(第3版)》1500年 当館蔵

一方の巻菱湖は、新潟町で育ち、19歳で江戸に上り書家の亀田鵬斎に師事し、篆書・隸書・楷書・行書・草書・仮名のすべてに巧みだったとされ、幕末の三筆のひとりと言われます。特に菱湖流と言われる書体は書道の基本となる手本となり、何より明治政府が公用文字として採用し、教科書体といわれる書体の基となりました。

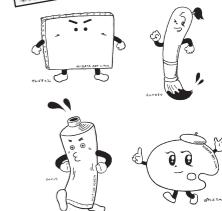
また、菱湖流書体の将棋の駒は多くの棋士に好まれ、羽生が対局した新潟の棋王戦対局では、三条市の駒師竹風さんの菱湖流の駒が使われました。

二人の書家の能筆家を対比して展観するという挑戦的な展覧会です。

## アートリンク2016、コレクション展スタンプラリー実施中!

新潟県立近代美術館では、美術館に行くのがもっと楽しくなる、二つのスタンプラリーを実施中です。一つは当館と、新潟市にある県立万代島美術館、新潟市美術館、新潟市新津美術館の4館を巡っていただく「NIIGATAアートリンク2016」。二つ目は、当館の所蔵品を展示するコレクション展と、万代島の所蔵品展で実施しているスタンプラリーです。多彩な企画展とコレクション展の鑑賞と一緒に、ぜひご参加ください!

(学芸員 松本美樹)



編集部からの  
ひとこと

今号より、編集部のメンバーに加えていただきました。近美をもっともっと身近に感じてもらえるよう、今後も雪椿通信だからこそお伝えできる近美的面白さを発信していきます!

(美術学芸員 松本奈穂子)

新潟県立近代美術館だより 雪椿通信 第47号

編集・発行

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART  
新潟県立近代美術館

〒940-2083 新潟県長岡市千秋3丁目278-14  
TEL0258-28-4111㈹ FAX0258-28-4115  
<http://kinbi.pref.niigata.lg.jp/> e-mail kinbi@coral.ocn.ne.jp  
株式会社 山田写真製版所  
〒950-0064 新潟県新潟市東区松島1-5-14  
2016年7月4日

